

SDG s おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDG s の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDG s の推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 2024年10月28日

事業者情報					
事業者名		日本空港ビルデング株式会社			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長執行役員兼 COO			
	氏名	横田 信秋			
ホームページ URL (任意)		https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<p>2030年の目指す姿として「～人にも環境にもやさしい先進的空港 2030～」を掲げている。「世界随一のおもてなし」「安全・安心な空港」「快適な旅」などとそれぞれの分野において、【ベスト・モデル】を創りだし、日本を代表する空港・日本の空の玄関口として全てのステークホルダーから信頼され、世界から評価される存在になる。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDG s 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
○	○		○	○	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
○	○	○	○	○	○
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
○	○	○	○	○	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
7、13	省エネへの取り組みや再エネ導入に加え、2050 ネットゼロ目標達成のため、新技術を活用したエネルギーの利用に向けた他企業との共同検討に関する連携協定を締結した。	AIやデータ解析技術を活用したエネルギーシステムの本格的導入、脱炭素に向けた新たなエネルギーのサプライチェーン構築体制を確立させる。
2、12、14、15	環境負担が低い施設の着工、他企業との協働によるペットボトルの水平リサイクル推進活動、一部店舗にてエシカル商品取り扱いを行っている。	環境負担が低い施設に対する ZEB oriented の認証取得に向けた一次エネルギーの低減をはじめとし、環境への影響を最小限化するための取り組みを広げていく。
4、9、11、17	地域、地方との交流創出や魅力発信につながる場として「羽田産直館」「HI City」のオープン、大田区等の小中学生を対象に空港見学、職業体験プログラムを実施した。	地域連携PRの定期的な実施、羽田空港のノウハウをはじめとした他空港への運営参画の拡大、研究施設「terminal.0 HANEDA」における地域連携の強化へ取り組む。
9、10、11	「mini MORK」「デジタルサイネージ」などのデジタル・ロボット技術を活用した利便性の向上や、ユニバーサルデザインの積極的な推進活動により6年連続「ベストPRM No.1」を受賞している。	「terminal.0 HANEDA」の開業にて、空港における課題解決へ異業種連携で本格的な取組を推進する。連携による成果は羽田空港をはじめとし全国・世界の空港へと展開することを目指す。
1、4、16	公正な事業活動の推進に向け、コンプライアンスの徹底とサステナビリティガバナンスの強化に取り組んでおり、社員及び取引先に対する周知徹底に努めている。	引き続き、社員に対するコンプライアンス意識の浸透性の向上及びサプライチェーン全体のサステナビリティ向上を目指した取り組みを継続する。
5	男性育児休業取得率 100%、女性管理職比率 40%を KPI として挙げている。またチョコレートを通じてサステナブルな社会を目指すブランドの展開を行った。	引き続き、KPI として挙げている目標の達成及び継続することや、サステナブルな社会に向け、様々な課題に対し、発信などを通して取組を推進していく。
8	「自ら考え挑戦する人財」を促進するための浸透活動、多様なスキ	研修などの学びの場を設けることにより、個々の能力を最大限に発

	<p>ルを持った人材の積極的な採用・育成の実施を行った。新たな視点として産学連帯や外部出向の実施も行った。</p>	<p>揮できる環境へとつなげることができる。また役職員の心身サポートをはじめとし働きがいのある環境・制度作りに努める。</p>
<p>12</p>	<p>環境負荷低減に向け、環境に配慮した素材、商材の導入を行っている。廃棄物の抑制・資源循環としてペットボトルの水平リサイクル推進活動、食品残渣のリサイクルの実施を行った。</p>	<p>引き続き、エシカル商品の取り扱い店舗の拡大などの環境に配慮した素材・商材の導入、リサイクルの推進活動や実施に取り組み、自然環境・生物多様性にも配慮した事業運営を目指す。</p>